

平成 30 年 10 月 18 日 00400 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212

400 号記念特集 北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/> Fax:0157-23-0581 satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】 細川結加さんが北見市武道館に 20 歳の報告に来てくれました。

※成人式の前撮りの写真です。武道通信 400 号記念に特集号として掲載します！



『成人のお礼と合気道の出発点』 細川結加

様々な人に支えられて無事 20 歳を迎えることが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

現在は早稲田大学合気道会というサークルに入り、稽古に励んでいます。柔道とはまた違った奥深さがあり、とても面白いです。

武道の種類は変わりましたが、私の合気道の出発点は高校 3 年間の柔道の思い出と固く結びついています。

高校時代は柔道の稽古をする中で、たまたまうまく決まった足払いに快感を覚えたり、柔道の三船久蔵十段が呼吸を捉えて自分よりも大きい相手を軽々といなし、投げ飛ばしていく動画を見つけ、その鮮やかな技の数々に魅了されたりしました。そういったことに触れて、この先も何か『相手とタイミングが重なり合う一瞬の体験を』武道を通して積み重ねていきたいと思うようになりました。

そのような観点で向き合う武道を考えたとき、自分には体力的に柔道よりもむしろ合気道のほうがこれを追求しやすいのではないかと。こう思い、大学で合気道の門を叩きました。

そして、大学 3 年生となる来年には副主将を務めさせていただくことになりました。私と武道を結び合わせてくれた縁に感謝しながら、今後ますます精進していこうと思います。



『講道館杯』全日本柔道体重別選手権大会で『極の形』披露！ 11月3・4日千葉ポートアリーナで開催の『平成30年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会』で決勝戦前の形（極の形）演武者に北見柔道連盟の中澤伸一6段・中澤正5段が選ばれました。兄弟の二人は「今回、世界柔道選手権大会の日本代表選考会を兼ねた日本最高峰の大会で、形の演武が出来ることに大きな緊張と喜びを感じています。今まで支えていただいた方に感謝をし、迫力のある演武で、見ていただいた方に形の素晴らしさを伝えていけるよう精一杯演武してきます」と意気込みを伝えていただきました。